

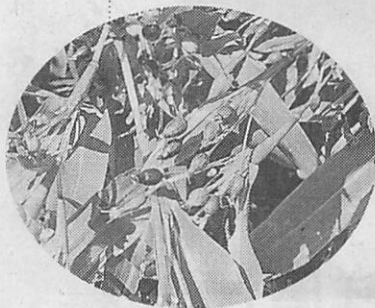
ハトムギに美白成分

九大が効果確認 老化防止も

福岡県久留米市三潴町特産のハトムギを加工した商品開発に取り組む久留米南部商工会が、化粧品開発に乗り出す。研究を委託された九州大農学研究院の清水邦義准教授(天然物生理活性科学)によると、ハトムギは肌の美白や老化防止に役立つ働きをする実験結果が得られた。肥満抑制の効果も期待できるといい、食品への応用も検討する。

久留米南部商工会 化粧品開発へ

商工会は九州最大のハトムギ産地がある特徴を生かし、全国に売り出すプロジェクトを進めている。古くから美容効果については言い伝えがあり、漢方薬としても服用されていた。ただし、これまで科学的な根拠がなかったことから本格的に成分分析をして製品化することにした。



清水准教授はハトムギの殻や薄皮のほか、皮を取り除いた精白粒などの部位ごとに抽出物を分析。殻付きの実や精白粒の抽出物に、肌のシミの原因になるメラニン生成を抑制する働きがあることを突き止めた。一般に化粧品に使われる美白成分アルブチンに近い値を示したという。

ハトムギの薄皮付きの実からは、肌の老化を抑える抗酸化作用が確認された。さらに、殻と薄皮には脂肪の吸収を抑える働きがあることが分かり、食品として加工できれば肥満予防への効果が期待できるという。

清水准教授は「抗老化をはじめマルチな健康成分を含んだ有望な素材」と話している。

(布谷真基)

九州最大の産地、福岡県久留米市三潴町のハトムギ